

Ready Steady Go! Ready Go JAPAN!!



レディー・ステディー・ゴー!
レディー・ゴー・ジャパン!!
月刊WEBマガジン
第2号・2009年4月号
発行：RGJチーム事務局
編集：事務局・須藤むつみ
※掲載内容の無断転用を禁止します。



今レースで優勝したブリヂストンアンカー森田選手をマークする福本千佳選手の勇姿 (撮影：蔵本珀)

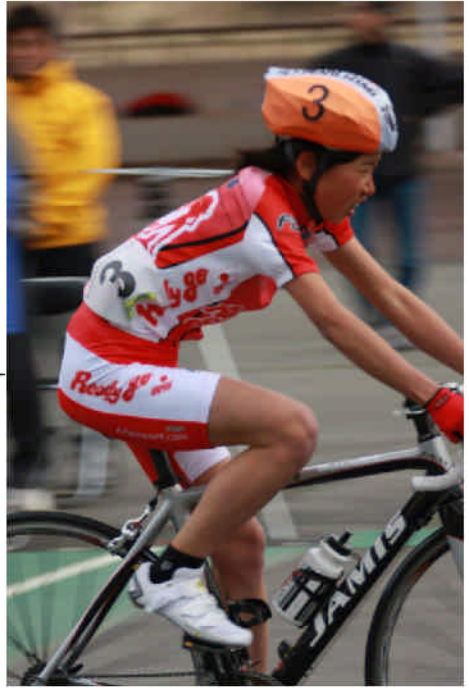
チャレンジレースで 本格シーズン開幕!

日本の自転車レースシーズンの開幕を告げる日本自転車競技連盟(JCF)主催「チャレンジサイクルロードレース」の第三十四回大会が、静岡県・日本サイクルスポーツセンター(CSC)でおこなわれた。このレースは非常に古い歴史があり、以前は三月の最終週の日曜日にJCFの年度末に開催されてきたが、数年より四月の第一週の土曜日にリニューアルした。このレース会場である日本CSCは、日本で唯一の競輪学校と一部施設を共有しつつ、5kmロードレースサーキットや、こちらも日本唯一の二五〇mトラック競走場などを持ち、さらには遊園地や宿泊施設まである文字通りの「自転車天国」。ここに日本中から、この開幕戦に集まってくるのだ。

女子のレーススタートは、男子のエリートそしてマスタークラスとほぼ同時刻の午後二時。当日の天候は晴天で風のせい気温が若干低いですが、まずまずのコンディション。桜もちらほら見えてくる。Ready Go Japan女子チームは午前中から会場入り、JAMSテントを設置してこの日のチーム拠点として準備を開始。RGJ所属選手がテントを目印に集まる。全員が集まったのを頃合にRGJ監督・須藤大輔が、選手各自にレース前準備を指導しながらレース作戦を指示していく。傍らでは、メカニック・栗田氏が自転車の最終チェックをしながら、選手と会話しながら緊張をほぐす。そしてスタート前の出走サインや、ウォーミングアップを各自済ませたことを確認して、レースコースに移動。RGJチームを応援いただいている皆様とともにコース脇に陣取スタート位置へ。

いよいよスタート直前。下久保・武田両選手は高体連所属の出場指定のため、高校自転車部でのウェア着用でスタートに立つ。堀吉井、福本各選手はいつものRGJ赤白ウェアで緊張した面持ちでスタート位置に。RGJチームがスタートから四分遅れで女子十kmの短いレース。しかしシーズン序盤ということもあり、出場各選手ともに非常に気合が入っている。出場メンバーもなかなかの顔ぶれ。ペテラン西加南子(チームコラテック)や若手力をつけている井上玲美(チームコラテック)、そして昨年の北京五輪代表を争っていたが、MTBレース中の骨折で一時戦線離脱していた森田正美(チームブリヂストンアンカー)もこのレースで復活してきている。ほかにも多くの実業団やJCFRCレーサーの出場選手が名前を連ねており、このレースでは初のチーム参戦となるRGJがどこまで絡めるか展開が楽しみと

スタート後は緩やかな展開であったが、二周目に入るとメンツが先頭集団を形成した。その六名の先頭集団にRGJ福本千佳の姿がある。彼女はこのレースに初めての出場し、走り初めから非常に速いペースを走っている。しかし非常に落ちてきている集団の様子を見ながら走っている。福本は「スタート直後にクリートがはまらず、クリートを少し出遅れてしまっていた」と少し後悔を言っていた。しかしその後、出直して少しずつ集団の前方で上がり、いつまでも逃げられず、六名に動かしに反応できた」というから大した落ち着きである。



吉井玲香選手は、前回の神宮クリテでの失敗を払拭する見事な走りで会場を沸かした (撮影：蔵本珀)



チャレンジ女子(A・F)レース表彰式。前列左より二人目が福本、同列一番右が武田(川越工業高校ウェア着用)

この後の二周目の二つ目の登坂で、ヨッシーこと吉井玲香選手が、まるでビデオの早送り再生を見るような速さで、登り坂を走っている。思わずゾロゾロ自分一人だつたらもう上りたかと思ってしまう。吉井は、前回の神宮クリテで走って来た「悔しい思い」も発散していたのであろう。でもムチャな速さは凄かった。福本の終始冷静沈着な走りも素晴らしい。この二人の好対照な走りも皆の声援が大きくなる。素晴らしいのは、先頭集団もちぎって先頭にたつて観戦

者の集まるホームストレートにきた吉井と先頭集団内に入り、声援を送るRGJメンバー。しかし、そんな吉井も三周目から先頭集団に再び捕らえられ追いつけなかった。実は、吉井は自らが体力に追い付いていないという大きな集団での走りを強化したい男子エリートの速い展開に驚き、追いつけなかったのだ。吉井は「須藤監督にインナーに落ちてしまっているように!と言われたら、背中を押してもらい、がんばって支えたい」と声をかけてくれた。審判員がきてくれて困った。背中を押してもらい、がんばって支えたい」と声をかけてくれた。審判員がきてくれて困った。背中を押してもらい、がんばって支えたい」と声をかけてくれた。

今後、レディー・ステディー・ゴーも活躍に期待ください (撮影：蔵本珀)